夜間中学と連携して実施する日本語教育(補助対象事例)





地域日本 語教育の 課題 学習環境として適切な日本語学習の場所を安定的に確保できない。

夜間の日本語教室が少ないため, 就労者等に 対する日本語学習機会が十分でない。 夜間中学の 課題 日本語学習を主目的とする夜間中学の入学希望者もおり、学校の体制と入学希望者のニーズに乖離がある

日本語指導ができる日本語教師が配置されているケースが少なく、現場の教員の負担が大きい

双方の課題を改善する取組として, 夜間中学の場所を活用して, 夜間に, 地域にも開かれた(初期)日本語教室を開催



日本語教師

日本語学習支援者

派遣

地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業で

- 日本語教師の派遣旅費と謝金
- 日本語学習支援者の派遣旅費と謝金
- 日本語教育の実施に必要な経費 (資料印刷費・消耗品費・事務補助員の作業補助謝金等)等

を補助できます。

夜間中学

(初期)日本語教室

初期レベルの生活に必要な 日本語指導が必要な生徒



教科教育

正規生徒



修了

「生活者としての外国人」も参加可能

※就労者等、夜間にしか日本語教育を受けられない者